

# 令和6年度 県政アンケート調査結果の概要について

令和6年12月

みらい企画創造部企画調整課

【調査目的】 県民の生活と県政に対する県民のニーズ、意識などを把握し、今後の施策の企画立案及び執行上の基礎資料とする。

【調査項目】	(1)「山形での生活」について	(問1～5)
	(2)「県の情報発信」について	(問6～8)
	(3)「多文化共生」について	(問9～13)
	(4)「雪に関すること」について	(問14～16)
	(5)「食育・地産地消・食の安全性」について	(問17～22)
	(6)「子育て環境満足度」について	(問23～31)
	(7)「若者の活躍」について	(問32～33)
	(8)「健康、スポーツ」について	(問34～39)

【調査対象】 県内在住の満18歳以上の者

【標本数】 2,500

【調査方法】 郵送によるアンケート調査（回答は郵送又はインターネットから選択）

【調査期間】 令和6年8月中旬～9月上旬

【回収結果】 回収数1,376件（回収率55.0%）

【調査結果】 （主な調査項目）

※1つの設問において2つ以上の回答を求めたものは、百分比の合計が100%を超える。

## ○「山形での生活」について

### ● 山形県が他県に誇れる良さは「自然環境の良さ」が78.4%

▶ 山形県が他県に誇れる良さについて、回答割合が高い項目

第1位「自然環境の良さ」(78.4%)  
第2位「優れた食文化」(46.9%)  
第3位「治安や風紀の良さ」(46.5%)

▶ あなた自身もその良さを享受（実感）しているものについて、回答割合が高い項目

第1位「自然環境の良さ」(67.9%)  
第2位「治安や風紀の良さ」(38.9%)  
第3位「優れた食文化」(38.6%)

▶ 山形県に住み続けたいと思う（「住み続けたいと思う」、「やや住み続けたいと思う」）は76.4%

- 現在幸福を感じている（「幸福だと感じている」、「やや幸福だと感じている」）は73.6%

- ▶ 幸福（充足している）かどうか判断する際に重視したのものについて、回答割合が高い項目

第1位「健康状況」（63.7%）  
第2位「家族関係」（59.6%）  
第3位「家計の状況」（37.5%）

## ○「県の情報発信」について

- 県の情報発信を評価する（「評価する」、「ある程度評価する」）は59.2%

- ▶ 情報を得ている手段について、回答割合が高い項目

第1位「テレビ」（68.9%）  
第2位「山形県が発行する各種印刷物」（46.9%）  
第3位「新聞」（46.1%）

- ▶ 充実してほしい情報発信の手段について、回答割合が高い項目

第1位「テレビ」（42.8%）  
第2位「山形県が発行する各種印刷物」（26.2%）  
第3位「新聞」（23.6%）

## ○「多文化共生」について

- 「多文化共生」について、「言葉も意味も知らない」が40.1%

- 「やさしい日本語」について、「言葉も意味も知らない」が43.7%

- 「外国人住民」に親しみを感じる（「親しみを感じる」、「どちらかと言えば親しみを感じる」）は28.9%、「どちらともいえない」は49.4%

- 外国人を受け入れるべき（「積極的に受け入れを進めるべき」、「ある程度受け入れを進めるべき」）は52.8%

- ▶ 外国人住民と共生するために山形県民に求められることについて、回答割合が高い項目

第1位「ごみ捨てや清掃など地域のルールを外国人住民にわかりやすく教える」（51.2%）  
第2位「外国人に対する先入観や固定観念に捉われないようにする」（49.4%）  
第3位「外国人の生活習慣や文化などについて理解を深める」（38.3%）

## ○「雪に関すること」について

### ● 雪国で生活する不安又は負担は「自宅周辺の雪かき」が49.5%

- ▶ 雪国で生活する不安又は負担について、回答割合が高い項目

第1位「自宅周辺の雪かき」(49.5%)  
第2位「雪道又は凍結路での車の運転」(32.0%)  
第3位「灯油やスタッドレスタイヤ、小型除雪機などの出費」(28.7%)

- ▶ 地域での除排雪を支えるために必要なことについて、回答割合が高い項目

第1位「小型除雪機の購入支援や貸与」(49.6%)  
第2位「地域住民を主体とした日常的な除排雪の体制づくり」(38.0%)  
第3位「スノーダンプ等の除雪用具の購入支援や貸与」(33.6%)

- ▶ 一人暮らしの高齢者等、支援を必要とする世帯に対する協力について、回答割合が高い項目

第1位「声かけや見守り等による安否確認」(58.3%)  
第2位「高齢者等の住宅前に寄せられた雪(車道除雪後の寄せ雪)の片付け」(53.3%)  
第3位「玄関周り等、住宅敷地内の雪かき」(46.0%)

## ○「食育・地産地消・食の安全性」について

### ● 「食育」に関心がある(「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」)は74.7%

- ▶ 食育として特に力を入れたいことについて、回答割合が高い項目

第1位「栄養バランスのとれた食生活を実践したい」(54.4%)  
第2位「健康に留意した食生活を実践したい」(45.3%)  
第3位「食べ残しや食品の廃棄を削減したい」(42.6%)

### ● 食品を購入する際に地産地消を意識する(「よく意識する」、「たまに意識する」)は71.9%

- ▶ 食育や地産地消への取組みについて、回答割合が高い項目

第1位「産地直売所や朝市などの魅力アップ」(61.5%)  
第2位「学校給食における県産農林水産物の利用拡大」(44.4%)  
第3位「子どもを対象とした農業体験や調理体験などの食農教育の充実」(33.6%)

### ● 食品の安全性に不安を感じている(「不安を感じている」、「やや不安を感じている」)は52.6%

- ▶ 食の安全性を高めるために必要な取組みについて、回答割合が高い項目

第1位「食品関連事業者に対する品質管理・衛生管理の指導の強化」(55.5%)  
第2位「残留農薬検査、放射性物質検査等の強化」(42.8%)  
第3位「食品の安全性に関する情報の収集と消費者への各種媒体による情報提供」(38.5%)

## ○「子育て環境満足度」について

- 子育てと仕事の両立のバランスが取れている（「取れている」、「ある程度取れている」）は62.8%
  - 子ども連れで出かける場所や遊べる場所が充実している（「充実している」、「ある程度充実している」）は30.6%
  - 子どもや子育てをしている家族を支えている人や組織が充実している（「充実している」、「ある程度充実している」）は27.4%
  - 学校教育環境について満足している（「満足している」、「ある程度満足している」）は40.5%
  - 安全で安心な子育て環境が整っている（「整っている」、「ある程度整っている」）は45.6%
  - 自然環境に恵まれた中で子育てができる（「できる」、「ある程度できる」）は61.5%
- ▶ 悩みや不安を相談・解決するために活用したい（した）サービスについて、回答割合が高い項目

- 第1位「医療費助成」（33.4%）
- 第2位「保育園・放課後児童クラブ」（32.0%）
- 第3位「子育て支援センター」（21.5%）

## ○「若者の活躍」について

- 「山形県の若者（概ね18歳～39歳まで）」は、総じて職場や地域で活躍していると思う（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」）は40.2%
- ▶ 若者が活躍するために必要な取組みについて、回答割合が高い項目

- 第1位「安心して働くことのできる労働環境の充実」（71.2%）
- 第2位「職場や地域が若者の活躍の促進に積極的であり、理解があること」（52.8%）
- 第3位「若者が自由に集まり、情報交換や一緒に交流・活動する場の整備」（27.7%）

## ○「健康、スポーツ」について

- 自身を健康だと思う（「非常に健康だと思う」、「健康な方だと思う」）は62.3%
- ▶ この1年間に行ったスポーツや運動について、回答割合が高い項目

- 第1位「ウォーキング（散歩などを含む）」（42.3%）
- 第2位「体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びなどを含む）」（26.3%）
- 第3位「トレーニング（筋力トレーニング、室内運動器具を使ってする運動などを含む）」（14.4%）

- ▶ スポーツや運動をしなかった理由について、回答割合が高い項目

- 第1位「仕事や家事が忙しいから」（41.7%）
- 第2位「生活や仕事で体を動かし疲れているから」（35.5%）
- 第3位「年をとったから」（28.0%）